

福生市長 加藤育男 様

2016年度予算編成にあたっての要望書

2015年11月10日

日本共産党福生市議会議員 奥富喜一

池田公三

安倍政権の暴走は年を追うごとに加速し国民生活を危機に陥れています。地域経済をいっそう冷え込ませ、閉店する自営業者が後を絶ちません。非正規雇用の割合は、各種調査のなか初めて4割に達しました。1億総活躍どころか、1億総貧困だとも言われています。あからさまな富国強兵路線は防衛装備庁1,800人に比して、中小企業庁188人に象徴されます。消費税10%への再引き上げは不可能という状況下で、延期はされたものの2017年4月に強行予定です。

こうした中、市民の一番身近にあつて市民の暮らしを守る責務を担う、福生市政の役割はますます重大です。以下の項目について、来年度の予算で実施されることを強く要望致します。

1. 市民の暮らし、福祉、医療を充実するために

- ① 若い世代・高齢者など経済的弱者が入居できるよう、既存の空家住宅を借り上げするなど、活用を図ること。
- ② 現在の高齢者居住支援を継続するとともに、お年寄り家庭への生活支援策を充実すること。
- ③ 商工会、市内業者等と協力して喘息患者など、定期就労が困難な方の就労支援をすること。
- ④ 早期発見早期治療で医療費抑制につながる75歳以上の高齢者医療費無料化を実施すること。
- ⑤ 公立福生病院の医師確保で診療内容を充実させること。
- ⑥ 少子化対策の一環として、不妊検査・不妊治療助成事業を奥多摩町のように実施すること。
- ⑦ 奥多摩町のように不育治療助成事業を実施すること。
- ⑧ 国民健康保険税を、一人1万円、引き下げること。
- ⑨ 介護保険事業者、利用者の生の声をしっかり把握し、介護保険事業の改善点を明確にし、取り組むこと。
- ⑩ 保育料の引き上げを、引き続きしないこと。
- ⑪ 生活資金貸付制度の限度額を大幅に引き上げ、保証人無しの貸付制度を設けること。
- ⑫ 公共財産の有効活用を図るためにも、駅前自転車駐車を無料にもどすこと。有料化を継続する場合は、3ヶ月、6ヶ月の定期利用者への割引制度を実施すること。

2. 教育・文化・スポーツの発展と向上のために

- ① 就学援助支給基準については、生活保護基準以下でなければ受給できない現状を改め、生活保護基準の1.1倍以上に引き上げること。
- ② 新学校給食センターは、食物アレルギー対応も含めて、全て市の直営とすること。
- ③ 奥多摩町のように、人口減少・少子化対策にも有効である学校給食の無料化を実施すること。
- ④ 学校給食、ランチの每日一食分の丸ごと放射能測定を実施すること。
- ⑤ 30人学級を早期に実施するよう、国、都に働きかけること。当面、35人学級を維持し、小学3年生以上・中学2年生以上にも適用するよう、国、都に働きかけること。
- ⑥ 日光移動教室については、実地踏査の自由度を高め、各学校要望のある箇所（小田代ヶ原、切込・刈込など）は全て、放射能測定を実施出来るようにすること。
- ⑦ 修学旅行や移動教室の補助金を増額すること。
- ⑧ 卒業アルバム作成の補助を実施すること。
- ⑨ 全都一学区制の現状を考慮し、高校生等通学定期代助成事業を実施すること。
- ⑩ 非正規職員も含めた労働安全衛生に努めること。
- ⑪ 福生市の10校の小中学校教職員に対して1人以上の産業医をおくこと
- ⑫ 学校における婦人科検診の対象を偶数年齢の人だけでなく、全員対象にすること。

3. 生活環境を整え、住み良いまちづくりのために

- ① 福祉バスを充実（逆回りを増やすなど）させ、だれでも利用できる市民バスを運行すること。
当面、福祉バスを市のイベントのある日曜日には運行させること。
- ② 福祉バスの停留所表示を、場所にに応じて見つけやすい形式に改善すること。
- ③ 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進、西口タクシー乗り場の段差解消を早急に実施すること。
- ④ 福生駅自由通路の照明を、階段昇降時に眩しいと感じる方が出ているので改善すること。
- ⑤ 東福生駅にエスカレーター、エレベーターを設置すること。熊川駅のバリアフリー化を進めること。
- ⑥ 長期空家などの雑草繁茂解消に、取り組む方策を早急に図り実施すること。
- ⑦ 市営加美平野球場のトイレが汚い、他市との交流時に恥ずかしくないよう清掃改善すること。
- ⑧ 市民の公民館活動を支援するため、使用料免除を継続すること。
- ⑨ 市内業者の仕事づくりの観点から、市民が住宅のリフォーム等を市内業者で施工する場合、工事費の補助をすること。
- ⑩ 家庭ゴミ収集袋の値段を下げること。
- ⑪ 可燃ごみ収集日を週3回に戻すこと。

- ⑫ 交通安全対策を強化すること。（実地調査し、信号機の設置・カラー舗装など）
- ⑬ 主要交差点に視覚障害者用の音声信号装置をつけること。（新奥多摩街道の熊川駅入り口）
- ⑭ 産業道路のセブンイレブン福生武蔵野台1丁目交差点、田園通りの北田園2丁目業務スーパー福生店交差点、南田園2丁目4-18へアーサロンの交差点に連動信号を設置すること。
- ⑮ 福生駅東口から保健センター間の道路幅員の確保に取り組み、早急に整備を進めること。
- ⑯ JR八高線福生第3号踏み切りの拡幅を実現し、円滑な交通と歩行者の安全を確保すること
- ⑰ JR八高線、JR青梅線沿いの雑草の繁茂について適切に管理すること。
- ⑱ ボランティア登録されている公園も含めて、公園の樹木、雑草の管理費を充実すること。
- ⑲ 多摩川の護岸工事について、樹木の伐採など自然環境との調和をとりながら進めること。
- ⑳ 地球温暖化防止、原発に依存しない社会を目指して、自然エネルギーの地産地消に独自の取り組みを行うこと。

4. 基地被害を防止し市民の安全をまもるために

- ① CV-22 オスプレイの横田基地配備撤回を、国や米軍に強く求めること。
- ② 増大するパラシュート降下訓練、土・日及び夜間・早朝のエンジンテストや飛行を禁止させるなど、基地被害をなくすこと。
- ③ 横田基地の全面返還を要求し、少なくともこれ以上、横田基地の再編・強化を、絶対許さない態度を示し、積極的に運動を進めること。
- ④ 2010年に東京都が横田基地から離発着する航空機の航跡図を作成している。出来るだけ早い時期に現状の航跡図を作成し、飛行実態について説得力ある科学的根拠を固めること。
- ⑤ 基地返還を求める市の立場を鮮明にするためにも、跡地利用の青写真作りや、基地に係わる労働者等の返還後の雇用対策などを、いまから市民と共に研究を進めること。
- ⑥ 軍民共用化に反対をすること。
- ⑦ 人殺しを連想させる迷彩服姿で市内を歩かないよう求めること。
- ⑧ 2015年7月26日の調布飛行場を離陸した小型機の墜落事故を受けて、市内上空でのセスナ機の飛行停止を米軍に求めること。
- ⑨ 航空機における市内への墜落・爆発事故被害予測を研究・公表し、事故発生時の市内医療機関との連携を協議する。

5. 市民サービスのゆきとどく行政を

- ① 2017年4月からの消費税10%引き上げに反対すること。
- ② 税の2重取りとなる受益者負担及び市民サービスの低下を招く「行政改革」をやめること
- ③ 低賃金労働者を増やす民間委託などの「行政改革」を行わないこと。
- ④ 官製ワーキングプアを生み出さないためにも、公契約条例を制定すること。

- ⑤ 悪徳業者によるお年寄や障害者等をねらう犯罪から保護するために、敏速で分かり易い情報提供に努めるなど、きめ細かな配慮のある施策を引き続き推進すること。
- ⑥ マイナンバー制度導入による個人情報流失やなりすまし被害防止に万全の対策をとること。
- ⑦ 市民総合相談窓口を設け、国・都・市制度利用が円滑に受けられるよう、ワンストップサービス支援を実施すること。（「きっとあります あなたの相談窓口」という看板で）
- ⑧ 福生市庁用バス運行基準、第4条別表の運行範囲（半径、走行距離）の拡大を図ること。
- ⑨ 福生市役所に夜間ポスト（市民税申告などの）を設置すること。

以上